

大軍拡・大増税反対
くらしと平和を守れ **その“1票”をながた候補に**



↑2日 戸畑区で演説するながた候補

北九州市長選は明日、2月5日が投票日です。
小倉北区の城野団地では、アパートの外から出てきたお年寄りとお話。「高齢者の政策を訴えているのはながたさんだけ。福祉を優先する市政にしてほしい」と、声がかかりました。八幡西区では公園を歩いていた市民から「安定した正規雇用を増やしてほしい。子どもたちへの支援をしっかりとしてほしい」と激励されました。

一方、他候補は告示後も「国と地方は別」といわんばかりに「大軍拡・大増税」にまったく触れないままです。この異常さにマスコミもコラム（記者有情）の中で「（北九州市長選では）国が進める防衛費大幅増などへの見解が、一部候補を除いて聞かれないのが物足りない。国策の影響はいずれ地方にも回ってくる」

（「毎日」2月3日付）と指摘しています。

防衛費大幅増が、地方政治とくらしに直結することを警告しています。

世論調査でも「防衛費増額に伴う増税反対」が61%に上っています。「平和・くらし守れ」の願いを託せるのは、ながた候補だけです。



→2日 握手で応援
(戸畑区)

投票箱が閉まるまで 棄権防止活動を

「笑顔と希望の北九州市をつくる会」は、「棄権防止活動を投票箱の閉まるまでやり抜こう」との訴えを出しました。

訴えは、棄権防止活動が公選法上、「なんの制限もなく、だれでも自由にできる活動」と強調。これまで声をかけた人や、かけきれなかった有権者、各種名簿のあたり残しを含めて「棄権しないようにすべてあたりきろう」と呼びかけています。また、お年寄りや体の不自由な人のため、車を確保するなど、必要な手立てを尽くすことを求めています。



最後まで
訴えぬきます!



**声をかければ、ながた候補への支持は、
どんどん広がります**

攻めて、攻めて、新しい歴史をつくろう!

